

所属	文学部	身分	教授
氏名	藤平 育子		
NAME	IKUKO FUJIHIRA		

1. 研究課題

(和文) William Faulkner 文学に描かれるボーダーランド

(英文) Representation of the Borderlands in William Faulkner's novels

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度)

(和文)

William Faulkner の *Absalom, Absalom!* (1986 年改訂版) の日本語訳を完成し、岩波書店から文庫上下巻で刊行した。フォークナー文学に描かれる「漂流」と「ホーム」への帰還について、クレオール、流浪、境界、海、帰郷などの想像域を軸に発展させ、各地で特別講演などに招かれて、その成果を発表した。ボーダーランドのテーマを発展させるにあたり、マルティニークの作家 Edouard Glissant のフォークナー論や、全世界論、クレオール化など、また今福龍太の『群島』などにも多くの示唆を得た。

2010 年の特別講演では、フォークナーと並べて、アフリカ系女性作家 Toni Morrison の *Beloved* と *Paradise* を論じ、また、2011 年の講演では、アメリカやカリブ地域の詩人 (Langston Hughes と Derek Walcott) の詩行に、フォークナーの笈を読み取る可能性について論じた。

(英文)

I have accomplished the long-awaited publication of the Japanese translation of William Faulkner's *Absalom, Absalom!*, in two volumes by the Iwanami Book Publishers. In revising the manuscripts of the translation, I worked on the topic of "The Borderlands in Faulkner and Black Writers," which culminated in the two major public lectures in Nagoya.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）

「世界^{プラス} + 私」の海—フォークナーとモリスンの帰郷

IVY Vol. 44 2011, pp. 83-102.

【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）

「世界^{プラス} + 私」の海—フォークナーとモリスンの帰郷

名古屋大学英文学会夏季セミナーおよび名古屋市民公開講座 2010年7月16日

見えない人間—ある黒人少年の場合

中央大学人権問題講演会 中央大学多摩キャンパス 2010年12月8日

死者たちの声が聞こえる—『アブサロム、アブサロム!』の^{こだま}偲

東海英米文学会 名古屋市 2011年8月22日

【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）

翻訳 フォークナー『アブサロム、アブサロム!』上下巻 岩波文庫、岩波書店 2011年10月（上巻）、2012年1月（下巻）

【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）

翻訳 ジョン・T・マシューズ「ウィリアム・フォークナー—南部を看破する」
第3部抄訳 『フォークナー』第12号、松柏社、2010年、119-35.

評論 サリー・ウルフ著『歴史の台帳』を読む 『フォークナー』第13号、松柏社、2011年、85-90.